



## 2024年3月18日に開催された

## 2023年度第8回理事会(定例)の概要をお知らせします。

### <決議事項>

#### ●中期経営計画の策定について

- ・204年までの長期計画も掲げながら、2028年までの中期計画を取りまとめた。
- ・長期ビジョンには抽象的な部分もあるが、中期計画で具体的な内容を定め、アクションを積み重ねていきたい。
- ・4月2日に中長期経営計画と、それに伴う新ブランディング発表の会見を実施する。あわせてJVAサイト等でも公開する。
- ・今後、各事項をどの部署が、どのようなスケジュールで、どのように実行していくか明記する。24年度に実施できないこともあり、1年ごとにどう進めていくか確認することも必要。

#### 【決議事項】

提案のとおり、中期経営計画を承認する。

#### ●2024年度運営方針及び事業計画について

- ・中期計画の5つの重要項目にあわせて記載している。
- ・中期計画に対して年度ごとの数値目標が見えない点もあるが、中期計画実行の初年度ということもあり、事業推進のなかで出てきた課題やその項目も適宜追記する。
- ・事業計画のそれぞれの項目について、どの部署が責任をもって担当するかを明確にする。
- ・各事業の振り返りを行い、必要に応じて見直し・整理を行う。
- ・「新リーグ」については理解が容易となるよう「新Vリーグ」に修正する。
- ・中学校の部活動地域移行や登録者減少への対策として、その受け皿を拡充することやアンダーエイジカテゴリー競技環境の整備も含めJVAが中心となって改善策を検討する。

#### 【決議事項】

提案のとおり、運営方針及び事業計画を承認する。

#### 【補足事項】

2-5-1(3)にある「新リーグ」は「新Vリーグ」に修正

#### ●2024年度予算および資金調達・設備投資の見込みについて

- ・予算の概要は以下のとおり。  
収入 20億 6,800万円（前年度比 8億 4,500万円減）  
費用 26億 3,100万円（前年度比 8億 900万円減）



最終値は 5 億 6,300 万円の赤字を予定

- オリンピック終了時に支払いが集中することで一時的にキャッシュが不足する場合、25 年度以降の特定資産の取り崩しを理事会に諮る可能性がある。
- 2023 年度決算は、3 億 3,000 万円程度の赤字となる見込み。
- 今後は予算の詳細に加え、説明用の要約を作成する。国際大会など大きな要因については事業ごとの収支等も記載し、また変動のリスク要因等も列記する。
- 公益認定を維持するためには 5 年のうちに赤字を黒字化する必要がある。2024 年度の運営をしながら、中期計画を踏まえて 2025 年度についても並行で実施する。
- 国内大会など手堅い予算でブレイクイーブンの予算を作るよう検討する。
- 2023 年度決算を基に分析を行い、その結果を基に補正予算を策定する。

#### 【決議事項】

提案のとおり、予算および資金調達・設備投資の見込みを承認する。

#### 【補足事項】

次回理事会で補正予算を議題としてあげるよう、2023 年度決算の分析と共に準備する。

#### ●事務局規程の改定について

- 中期計画の推進のための組織の機動力向上、事務局の能率的な運営のために組織を変更したい。
- 主だった変更点は以下のとおり。  
業務推進本部に総務部、経理部（経営企画部から名称変更）、広報部を置く。  
国際渉外委員会、中期経営計画推進委員会を新設し、外部理事にも参画いただく。  
100 周年記念事業プロジェクトを設置する（これまでの 100 周年事業準備室は廃止）。  
部活動改革プロジェクトを設置する。  
大会運営事業本部と指導普及事業本部を統合し、「競技普及推進本部」を設置する。
- 国際業務部が担っていた業務については、交渉は国際渉外委員会、紅白戦等の企画・運営はハイパフォーマンス推進部に移管する。
- 委員会やプロジェクトについては実際に担当する部署を明確にする。
- 外部理事に参画いただく委員会等は、一度関係者で集まりミッションの確認や事実確認を行ったうえでスタートする。
- 国際大会開催方針などを踏まえ、組織については改めて見直す。
- プロジェクトは横断的な位置付けのため、部署に拘らず JVA 全体で取り組む。それぞれのミッションや体制を明確化していく。

#### 【決議事項】

提案のとおり、規程の改定を承認する。



### ●役員担務の変更について

- ・部署の変更や重要な使用人の退任により担務の変更を議題にあげる。
- ・主な変更点は以下のとおり。

村上成司	業務推進本部 本部長、総務部 部長を兼務
内藤拓也	中期経営計画推進担当、100周年記念事業プロジェクト担当
灰西克博	競技普及推進本部 本部長に専念
紀伊良文	業務委託契約満了により退任

- ・兼務が残るが、次期理事改選時に役員と職員の分離が行われることも踏まえている。次のタイミングで解消するよう努める。
- ・業務推進本部内の中期計画や100周年記念事業プロジェクトについて、本部長となる村上氏と担当となる内藤氏の役割や権限を明確にする。

#### 【決議事項】

提案のとおり、役員担務の変更を承認する。

### ●報酬委員会の設置および委員の選任について

- ・委員の任期は理事会承認から、2024年度の常勤役員の報酬確定まで。
- ・委員会構成の提案は以下のとおり。  
理 事： 松下敬（外部）、須藤実和（外部）、奥村祐年  
監 事： 工藤陽子  
事務局長： 村上成司
- ・工藤監事は2024年6月14日定時評議員会をもって任期満了。監事改選後には改選後の監事から新たな委員を推薦いただくことになる。その際には委員会には女性委員が2名以上必要な点も留意することになる。

#### 【決議事項】

提案のとおり、委員会の設置および委員の選任を承認する。

### ●旅費規程の改定について

- ・前回理事会での指摘に加え、理事に事前共有した際の指摘も踏まえて更新した。
- ・主な変更点は以下のとおり。  
第4条 宿泊費の支払いを規定額から実費に変更  
第6条 承認フロー明確化のために、出張依頼者の事前承認を得ることを追記。  
パッケージ旅行利用条件である料金比較のタイミングを具体化するため、手配は出張依頼から2週間以内に行う旨を追記。  
第10条 日当支払いにおける距離による区分を撤廃  
第14条 日当額を変更  
第15条 宿泊費上限を12,000円に変更



第 26 条 今後は報酬委員会により、毎年度末にバレーボール界の報酬等をレビューすることを追記。

- ・距離による日当の区分を撤廃したため、ウェブ会議手当は廃止。

【決議事項】

提案のとおり、規程の改定を承認する。

●謝金規程の新設について

- ・前回理事会での指摘に加え、本部長にも事前確認を行い更新した。
- ・主な変更点は以下のとおり。

第 2 条 謝金規程の対象外の文言を修正。

第 3 条 各事業において基準等がある場合、謝金規程の上限額を上回らない範囲で各事業の基準等を優先できる旨を追記。

別表：実態にあわせ「代表活動における通訳」と「大会ドクター」の金額を訂正。  
上限金額を「税別」から「税込」に変更  
「1 日」の就業を 8 時間と想定し、「半日」は 4 時間以内と明記

- ・金額はそれぞれ関係者にヒアリングのうえ検討した。
- ・国際審判員の謝金額については次回見直しの際に再考する。

【決議事項】

提案のとおり、規程の新設を承認する。

●バレーボール男子日本代表チームへの報奨金支給について

- ・男子日本代表チームがオリンピック出場権を獲得したため、規程に則り報奨金を支給する。
- ・オリンピック出場権とともにワールドカップ表彰台にも該当するが、今回の支給は「オリンピック出場権獲得」のみ。
- ・3 月末までに 2023 年度の予算内で支給する。支給額は選手 1 人あたり 100 万円。
- ・規程の見直しを今後行う。

【決議事項】

提案のとおり、報奨金の支給を承認する。

●功労者 I 表彰決定

- ・加盟団体から推薦された功労者 I 表彰候補者下記 2 名について表彰委員会で審議した結果、理事会に推薦することとなった。

菅野 健 元 全日本大学バレーボール連盟 副会長

吉田 和夫 日本ソフトバレーボール連盟 副会長



#### 【決議事項】

提案のとおり、功労者1表彰を決定する。

#### <報告事項>

##### ●2023年度第4四半期職務報告について

法令及び理事会運営規程に基づき、2023年度第4四半期の職務執行報告が会長、業務執行理事、室長・本部長より行われた。主な報告内容は下記のとおり。

#### 【川合会長／代表理事】

- ① 春の高校バレー御成り接遇・閉会式プレゼンター
- ② 第57回テレビ朝日ビッグスポーツ賞授賞式出席
- ③ 官僚・議員および各スポンサー企業の代表取締役社長・役員とのご挨拶
- ④ 各種メディアとの取材対応や意見交換
- ⑤ 宝くじママさんバレーボール教室（山口）参加

#### 【村上事務局長／大会運営事業本部長】

- ① 春の高校バレー御成り接遇
- ② スポーツ団体ガバナンスコード改定説明会出席
- ③ コンプライアンス委員会出席
- ④ 報酬等検討委員会出席
- ⑤ 監事候補者選定委員会出席

#### 【灰西業務執行理事／指導普及事業本部長】

- ① 指導普及委員会の推進体制構築作業
- ② 2023年度全国指導者普及委員長・加盟団体指導普及委員長会議開催
- ③ JVA体罰・暴力の相談窓口に寄せられた相談事案の確認調査を実施
- ④ 通報フォームに寄せられた通報事案の確認調査を実施
- ⑤ 法人格取得に向けた説明会の開催

#### 【矢島業務執行理事／ハイパフォーマンス事業本部長】

- ① 各種合宿視察（全国中学選抜・女子ユニバ）
- ② 薩摩川内市副市長・芦別市長来局対応
- ③ 各種国内大会視察（春の高校バレー・Vリーグ・ドリームマッチ）
- ④ JOC-NF 強化関係連携会議参加
- ⑤ JVL 理事会出席

#### 【内藤業務執行理事／大会運営事業本部長】

- ① 春の高校バレー運営サポート業務
- ② 2026年愛知・名古屋アジア競技大会専門人材の検討準備



- ③ VNL 評議員会へのオンライン陪席
- ④ FIVB/AVC 理事宛ての決議案件等調整業務
- ⑤ 全国審判委員長・全国競技委員長研修会への出席

#### 【紀伊業務推進室長】

- ① 鳩森八幡神社新年祈願参拝
- ② HPT 研究所伊藤所長との新人事評価制度の打ち合わせ
- ③ キャリア採用応募者面接・受入れ対応
- ④ 新人事制度 第2回評価者研修実施
- ⑤ 表彰委員会出席

#### 【川合庶ビーチバレーボール事業本部長】

- ① 各社スポンサーご挨拶
- ② JOC・JISS 協働コンサル会議出席
- ③ ジャパンツアー記者会見会場視察
- ④ 日本ビーチバレーボール連盟 ブロック理事長・理事会出席
- ⑤ 競技員会 BV 事業方針説明会実施

#### 【藤山マーケティング事業開発本部長】

- ① 新規スポンサー獲得・既存協賛社対応及び継続作業
- ② 新ブランディング作業
- ③ 日本代表グッズ開発・販売促進、ファンクラブ事業の推進
- ④ 社会貢献活動のアクション実施
- ⑤ 中長期経営計画策定作業

### ●組織基盤改革プロジェクトの進捗について

灰西業務執行理事より下記のとおり報告が行われた。

組織基盤改革プロジェクトは、小柴・小縣理事、金川・須藤副会長と共に進めている。

先日、1月31日に JVA 加盟団体（都道府県協会・全国連盟）の皆さまに参加いただき、「法人格取得に向けた説明会」を実施した。

法人化を進めるにあたっては、都道府県協会に対して支援金を支払うこととし、2024年度～2027年度にかけて 47 全都道府県の法人化を目指し、1 団体あたり上限 300 万円の補助金支給することを計画している。また 2024 年度については、4,770 万円（上限 300 万円の補助金＋イニシャルコスト（取得手続き料）上限 30 万円）をそれぞれ 2～12 の団体に支給していくことを想定し予算を組んでいるが、JVA の財務状況と照らし合わせて、5 月の補正予算でこの金額を執行するかを検討し、最終結論を出していきたい。



### ●JVA 新ブランディングの発表について

藤山マーケティング事業開発本部長より下記のとおり報告が行われた。

2024年4月2日に中期経営計画と新ブランディングの発表記者会見を行うが、今後のデザインイメージを紹介する。

- 新しいロゴ（エンブレム・ロゴ・スローガン）の新デザイン発表。
- 代表チームは火の鳥・龍神のキャラクターは使用せず、今後はロゴの横に日本代表のアイコンを記載したものを使用。
- フラッグ、バナー、SNS デザインをはじめ、書物や名刺、応援グッズにも活用され、デザインの統一が図られる。

※「火の鳥・龍神 NIPPON」の愛称も公式には使用しなくなる。

新しいイメージと共にプロダクトも一新されるので、マーケティングとしても一つ良い機会になる。

### ●評議員会運営規程の改定について

村上事務局長より下記のとおり報告が行われた。

評議員運営規程に第20条の条文は意見交換会をそのまま残したかたちで、規程別紙の部分に記載している「開催手続き」「出席者」項目に若干の修正を加えたい。この後、3月22日に評議員懇談会の開催を控えているため、変更点の説明を行い、そこで評議員からいただいた意見をまた次の理事会で報告する。その際、必要に応じて審議願いたい。

### ●資金運用状況について

蓮見経営企画部部長代理より下記のとおり報告が行われた。

今年度は全体で基本財産2億2,900万円の社債等を利回り約2.5%で運用しており、2023年度は、570万円の運用益を確保した。

### ●功労者Ⅱ表彰報告について

村上事務局長より下記のとおり報告が行われた。

○第15期（2023年度）第4回功労者Ⅱ表彰授賞者

- ・ 北嶋 宝三 元 茨城県バレーボール協会 強化指導普及委員長
- ・ 神谷 正人 岐阜県バレーボール協会 副会長
- ・ 岩前 明美 京都府バレーボール協会 常任理事
- ・ 高橋 憲太郎 元 奈良県バレーボール協会 理事長
- ・ 下出 佳世子 和歌山県バレーボール協会 理事
- ・ 野中 修身 佐賀県バレーボール協会 副会長
- ・ 坂井 公一郎 熊本県バレーボール協会 顧問

以上